

DLP ITINポリシーの一致をトリガーするためのESAおよびCESの設定

内容

概要

[Q. ESAおよびCESでDLPポリシーITINを使用して電子メールをトリガーする方法は？](#)

概要

このドキュメントでは、ESA/CESでDLPポリシーの個人納税者識別番号(ITIN)が一致する電子メールをトリガーする方法について説明します。

Q. ESAおよびCESでDLPポリシーITINを使用して電子メールをトリガーする方法は？

前提条件と対象範囲：DLP ITINポリシーが有効になっており、ESAまたはCESの関連するメールフローに適用されていることを確認します。

マッチングロジック (例に基づく) :9桁のITIN類似パターンは、それ自体が一致しません。9桁のパターンがITIN関連のキーワード (「itin」、「taxpayer」、「tax id」 など) とともに表示されると、照合が行われます。9桁は、連続またはハイフン(###-##-###)で指定できます。

テスト手順：

1. テストメールを作成し、リストに含まれる一致するテスト文字列の1つをメッセージ本文に含めます。
2. DLPポリシーが適用されるESAまたはCESメールフローを介してメッセージを送信します。
3. メッセージのメッセージトラッキング/ログでDLPヒットを確認し、設定されたDLPアクションが適用されたことを確認します。

テスト文字列と予期される照合動作：

サンプルテキスト	予想される結果
	一致なし

サンプルテキスト	予想される結果
921-72-3456	
921723456	一致なし
taxpayer 921723456	Match
taxpayer 921-72-3456	Match
tax id 921-72-3456	Match
tax id 921723456	Match
itin 921723456	Match
itin 921-72-3456	Match
tax payer 921723456	Match
tax payer 921-72-3456	Match
taxid 921-72-3456	Match
taxid 921723456	Match

サンプルテキスト	予想される結果
tax identification 921-72-3456	Match
tax identification 921723456	Match

このドキュメントのすべての識別子とサンプル値は、架空のテストデータです。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。